

(例3) 岡山市立市民病院内科専門医研修プログラム；**subspecialty** 専攻コース
 (具体例：既に症例の充足があり、1年目から **subspecialty** を専攻する場合)

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修内容	血液内科		消化器内科 (消化器、肝臓)		呼吸器内科	糖尿病内科	循環器内科		総合内科 (内分泌、感染症等)		リウマチ膠原病内科(腎臓)	
	希望の subspecialty (上記の診療科の疾患も受け持つ)											
	JMECC 研修を受講、および病理解剖 1 例を経験											
	定期的な内科再診外来、新患外来、内科救急担当											
	救急当直、輪番で中小病院での日当直											
	主たる担当医として 40 分野・120 例を目標に経験(35 分野・90 例は必須)、研修手帳への症例登録											
	学会発表および論文作成 1 編、院内外の診療カンファレンスに参加											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修内容	神経内科		希望の subsp		連携施設(大病院) (希望の専門科)での研修				連携施設(中病院) での研修			
	希望の subsp											
	TNT 研修・緩和ケア研修を受講、未担当であれば病理解剖 1 例を経験											
	定期的な内科再診外来、新患外来、内科救急担当											
	救急当直、輪番で中小病院での日当直											
	主たる担当医として 56 分野・160 例の研修を達成(45 分野・120 例は必須)、研修手帳への症例登録											
学会発表および論文作成 1 編、院内外の診療カンファレンスに参加										提出症例 29 例の作成		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修内容	希望の subspecialty				特別連携施設(小病院) での研修				希望の subspecialty			
	定期的な内科再診外来、新患外来、内科救急担当											
	救急当直、輪番で中小病院での日当直、週 1 回の連携診療所外来											
	2 年目までに不足した分野について主たる担当医として 70 分野・200 例の達成、研修手帳への症例登録											
	学会発表および論文作成 1 編、院内外の診療カンファレンスに参加										筆記試験の準備	

- ※ あくまでも必須経験症例数の達成を第一目標とし、症例不足があれば他のプログラムへ。
- ※ **Subspecialty** 研修は計 2 年相当、連携施設によってはそれ以上となる。
- ※ 内科専門医試験は卒後 6 年目、**Subspecialty** の専門医試験は卒後 7 年目以降となる。